

まつまじょうにのまるしせきていえん

松山城二之丸 史跡庭園

地図
P13D3

城主の暮らしぶりが想像できる

松山城主の邸宅の間取りを発掘調査し、古絵図をもとに植栽や流水を使って再現。表御殿跡で見つかった大井戸の遺構は露出展示しているので、そのまま見ることができる。また、大井戸から発見されたロシア金貨に日露戦争当時のロシア兵男性捕虜と日本人女性看護師と思われる名前が彫られており、この金貨は国境を越えたラブロマンスの証と考えられた。こうしたことから「恋人の聖地」に選定されている。



DATA ⑬ 松山市丸之内5
④ 089-921-2000
⑤ 電停県庁前から徒歩5分
⑥ 9時～17時(季節により変動。入園は営業終了30分前まで。)
⑦ 12月第3水曜日 ⑧ あり



さかのうえのくもみゅーじあむ

坂の上の雲 ミュージアム

小説の世界と明治の 日本を知る

地図
P13D4

小説の世界と明治の日本をテーマに、映像や展示物でわかりやすく紹介。まちづくりの情報発信基地でもある。コンクリートのうちっばなしに三角形のユニークな形状が特徴。2階には「こども本の森 松山」がある。(令和7年7月～) (P10-11 参照)



おおかいどう

大街道

地図
P12E4・5

小説に登場する江戸時代からの繁華街

小説の中で何度も登場する大街道は、松山最大の繁華街。一番町と千舟町通りにかけて全長472mのアーケードのある商店街には、等間隔に樹木もあり、華やぎと潤いがある。

しのめじんじゃ

東雲神社

お能と関係ある 藩ゆかりの神社

地図
P12E3

徳川家康の異父同母弟、松山藩祖松平定勝をまつ。境内には市指定天然記念物の通称ナンジャモンジャの木や内藤鳴雪の句碑「東雲のほがらほがらと初桜」等がある。松山藩にすぎたものと言われた能道具を多数所蔵していて、愛媛県の有形文化財に指定されている。



DATA ⑬ 松山市丸之内
④ 089-921-8938
⑤ 電停大街道から徒歩8分

ばんすいそう

萬翠荘

地図
P13D4

お殿様の子孫が建てた必見の近代洋風建築

大正11年(1922)、久松家第15代当主久松定謨(ひさまつさだこと)が別邸として建てた洋館。当時の松山の最高の社交場だった。小説にも登場する定謨は陸軍武官としてフランスに駐在したことから同地の建築様式をとり入れた。設計は東京帝大出身で松山の実業家・新田長次郎の女婿になった木子七郎(きごしろう)。敷地内には漱石ゆかりの愛松亭跡碑や書簡碑がある。平成23年11月29日に国の重要文化財に指定された。

DATA ⑬ 松山市一番町3-3-7 ④ 089-921-3711 ⑤ 電停大街道から徒歩3分 ⑥ 9時～18時 ⑦ 月曜(祝日の場合は開館) ⑧ あり



にのまるたきぎのう

二之丸薪能

松山の伝統芸能

能楽は、松山では藩主の庇護のもと盛んに行われ、今日まで受け継がれてきた伝統芸能。松山城二之丸史跡庭園で、かがり火に照らされた松山城の石垣を背景に舞囃子、狂言、能を鑑賞できる。



松山観光 ボランティアガイド

松山観光ボランティアガイドの会のメンバーが長者ヶ平に常駐。観光客などに松山城の見どころをガイドします。

予約先
松山観光ボランティアガイドの会事務局
089-935-5711



ほりのうち(さんのまるあと)

堀之内(三之丸跡)

先人たちによって 守られた城壕

地図
P13C4

松山城三之丸の堀は、戦後間もない昭和23年に、進駐軍から埋め立て命令が出されましたが、多くの方々の反対運動により守られました。現在、堀之内東口には堀の保存に関わった先人たちの功績を後世に伝えるため、解説板を設置しています。



DATA ⑬ 松山市堀之内 ④ 089-948-6854 (松山市市街地整備課) ⑤ 電停南堀端からすぐ



はし「ほととぎす」うかつんのち

俳句雑誌「ほととぎす」は、明治30年(1897)、子規の友人の柳原極堂によって創刊された。子規のすすめた俳句革新をバックアップし、20号まで発行した。のちに高浜虚子が跡を継いだ。⑤ 松山市駅から徒歩15分

きじや旅館跡

地図
P13D4

第五十二国立銀行跡

地図
P13D5

大原観山住居跡

地図
P13D5

愚陀佛庵跡

地図
P13D4

河東静溪住居跡(碧梧桐生誕地)

地図
P13D5

高浜虚子住居跡

地図
P12E4

河東静溪住居跡(碧梧桐生誕地)

地図
P13D5

おほらかんざんじゆつぎよあと

子規の母・八重の父で藩校明教館の教授を務めた松山第二の学者。三男は加藤拓川。子規は小学校に上がるまで、この祖父に漢文の素読を教わった。⑤ 松山市駅から徒歩7分

かわがはきよしのくひ

地図
P13D5

河東静溪は俳人碧梧桐の父である。静溪は藩校明教館の教授を務めた人物で、廃藩後ここに千舟学舎を開いた。小説では、子規が静溪を訪ねて漢学や漢詩文を教わったことが記されている。⑤ 松山市駅から徒歩7分

くたぶつあんあと

地図
P13D4

愚陀佛庵跡

地図
P13D4

たかはまきよしのくひ

地図
P12E4

子規の後輩であった虚子が、明治14年(1881)から京都の第三高等学校入学まで暮らした。明治24年(1891)には帰省中の子規が虚子宅を訪ね、句会を開いている。⑤ 電停勝山町から徒歩3分

たかはまきよしのくひ

地図
P12E3

高浜虚子の句碑(東雲神社)

地図
P12E3

東雲神社にある虚子の句碑。自宅を出て道後の方を眺めると山にぼつかり冬の日が当たっており、何か頼りになるものがあつたと語っている。



「遠山に日の当りたる枯野かな」

たかはまきよしのくひ

地図
P12E3

河東碧梧桐の句碑(市役所前)

地図
P13D4

「さくら活けた花屑の中から一枝拾ふ」

はなぐす

市役所前の堀端にある句碑。季節や定型にこだわらない碧梧桐の句である。碑の文字も彼独自の書体。



歩兵第二十二連隊のあつた堀之内にある。そばには日露戦争を描いた「肉弾」の作家・桜井忠温の「最も愛情あるものは最も勇敢なりの碑も」。



歩兵第二十二連隊跡碑

地図
P13C3

万翠荘を設計した木子七郎の作品。昭和4年建築。翼のよつに広がる左右対称の構え。威厳をたたえ格調の高いフォルムが美しい。令和3年2月に国登録有形文化財に登録された。平日9～17時に無料見学可要予約。

⑤ 松山市一番町4-1-2 ⑥ 089-941-2111 ⑦ 電停県庁前からすぐ



愛媛県庁

地図
P13D4

街角のお宝

ここも見逃さない

ここも見逃さない